



柏陽中だより

10月号

令和5年9月29日(金)
さいたま市立柏陽中学校
岩槻区大字真福寺454
電話 048(798)6655

《学校教育目標》温かい学校 喜びあふれる学校(・自ら学ぶ生徒 ・心豊かな生徒 ・粘り強い生徒)
～ 希望の登校 満足の下校 ～

生徒たちの力で創り上げた体育祭

さいたま市立柏陽中学校
校長 亀井 隆 司

2学期が始まって一か月が過ぎました。今年は例年になく暑い日が続き、真夏日を観測した日数が過去最多となったとの報道もありました。まさにうだるような暑い日が続きましたが、最近はやっと朝晩涼しさを感じるようになりました。読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋・・・、ようやく来た秋を心地よく感じながら楽しめるといいなと考えております。

さて、9月16日(土)は体育祭を実施しました。久しぶりに感染症対策を設けず、多くの地域の皆様、保護者の皆様にご来場いただきました。たくさんの応援ありがとうございました。本校は小規模校であるため、体育祭では自分が出場する種目以外は係の仕事や次の種目準備など、自分の学級の席に座ってゆっくりすることはほとんどありません。そんな中で、自分の種目はもちろん、係の仕事などに一生懸命走り回る生徒たちの姿がたくさんありました。小学校までとは違い、「自分たちで体育祭を動かしている」という充実感や喜びを味わえたのではないかと思います。

また、競技においても最後の最後まで手を抜かず、力を出しきろうとする姿が見られました。競技を行っているとき勝敗がある程度わかってしまうことがあります。しかし、余裕で勝っていても、他のクラスがたとえゴールをしても決して力を抜くことなく、バトンをつないでくれた仲間のために、また自分自身のために最後まで全力を出す姿に感動しました。自分のできる精一杯の力を発揮しようとする姿勢は、きっとこれからの生活にも役立つ大切なものであると思います。

全種目の中で最後に行われた「柏陽リレー」。最後を締めくくる3年生たちは全クラスの健闘を祈って学年全生徒が円陣を組み、気合を入れる声掛けが行われました。中学校生活最後の体育祭となる3年生の並々ならぬ思いが感じられました。また、開会式の選手宣誓やそれぞれの競技、心を一つにした円陣など様々な場面でも彼ら、彼女らの思いがよく伝わってきました。1、2年生はこの先輩の姿を目に焼き付け、柏陽中学校の良き伝統を引き継ぎ、さらに発展していくよう頑張ってくれるものと思います。

最後に開会式で行われた体育委員の代表による思いのこもった選手宣誓を紹介します。

宣誓!

我々選手一同は、今まで全ての行事や学校生活が完璧とは言えない状況の中で生活してきました。しかし、今年は全てが今までどおりの生活に戻りつつあり、体育祭は行える種目も増え、保護者の方や地域の方々に観ていただける形となりました。スローガンの「百花繚乱」のもと、この第42回の体育祭が一人ひとりの個性であふれるよう、全ての種目において全力で取り組み、これまでの伝統を受け継げるよう仲間との絆を胸に正々堂々戦い抜くことを誓います。

